

第7回研究大会が開催されました

2008年6月28日(土)、第7回研究大会が開催されました。参加者数は、正会員46名、学生会員21名、非会員22名、学生参加者66名、招待者19名の合計174名でした。

今大会では、「変革期の情報メディア—記録メディアの歴史と保存」を基調テーマにして研究大会を開催しました。基調テーマに基づいて、高山正也先生(国立公文書館)に、「アーカイブズから見た情報メディアの新しい捉え方」について基調講演をいただきました。情報表現形式に対応して様々な記録情報メディアがあり、記録技術の進歩に伴い変化していること、記録情報のライフサイクル管理について、お話を頂き、また、日本の公文書館の置かれている現状については、諸外国と比較し、課題が累積されている状況であることを感じました。

また、午後には、若松昭子先生(聖学院大学)に、「情報メディアの歴史と変遷—印刷革命を中心に—」について特別講演をいただきました。印刷の歴史については、過去に、書誌の概念が、固まってゆく過程を垣間見ることができ、感慨深いものがありました。

特別講演の後、午後には、展示機関3社及びポスター発表者12名から、それぞれの簡単な紹介をしていただき、その後別会場での展示、ポスター発表の見学に移りました。この場では、食事と飲み物も用意され、懇親会として和やかな雰囲気の中で議論が弾みました。

ポスター発表は、参加者の投票により最優秀ポスター発表が選ばれました。最優秀ポスター発表は、全体で46名の投票のうち、9票の得票を得た、田嶋知宏氏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)「アーカイブズ機関における利用サービスの規定とその特徴」が表彰されました。



■大会プログラム概要

10:00～10:10 会長挨拶 渡部 満彦 氏(情報メディア学会会長)

10:15～11:45 基調講演 「アーカイブズから見た情報メディアの新しい捉え方」

講師 高山 正也氏(国立公文書館)

11:45～12:15 総会

13:15～14:50 特別講演 「情報メディアの歴史と変遷—印刷革命を中心に」

講師 若松 昭子氏(聖学院大学)

14:50～15:20 プロダクトレビュー(展示出展機関による報告)

15:30～17:10 ポスター紹介(ポスター発表者による概要紹介)

17:10～18:30 展示及びポスター発表(交流会)

■ポスター発表

1) 学習内容の関係性に着目したメディア教材の開発と実践

山路 蘭(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科、メディア教育開発センター・特別共同
利用研究員)

山路 進(日本私学教育研究所)

波多野 和彦(メディア教育開発センター)

2) 大学生による携帯電話を使った情報探求の実態

中村 慎平(中央大学大学院文学研究科社会情報学専攻)

佐藤 光洋(中央大学大学院文学研究科社会情報学専攻)

三輪 眞木子(メディア教育開発センター)

3) 多様な知識内容の学習保持に及ぼすIT教育システムの効果

— 宣伝的知識と手続き的知識に注目して —

行場 絵里奈(東北大学大学院教育情報学教育部)

中島 平(東北大学大学院教育情報学教育部)

4) 研究者の特許生産性と論文生産性、及び所属・経歴における差異に関する研究

麻原 生子(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

5) アーカイブズ機関における利用サービスの規定とその特徴

田嶋 知宏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

6) 携帯電話の使途に関する調査報告:クリティカルインシデント法による分析

佐藤 光洋(中央大学大学院文学研究科社会情報学専攻)

中村 慎平(中央大学大学院文学研究科社会情報学専攻)

三輪 眞木子(メディア教育開発センター)

7) 情報リテラシー教育におけるデジタルワークブックの効果

～ 学生による付与コメント数と成績～

元木 章博(鶴見大学文学部ドキュメンテーション学科)

原田 智子(鶴見大学文学部ドキュメンテーション学科)

長塚 隆(鶴見大学文学部ドキュメンテーション学科)

8) デジタル・コンテンツの流通構造比較に関する一考察

遠山 正朗(埼玉工業大学)

長谷川 香澄(埼玉工業大学)

中村 仁美(埼玉工業大学)

大多和 祥平(埼玉工業大学)

9) JST科学技術用語シソーラス改訂の文献データベース検索への反映について

國岡 崇生(独立行政法人科学技術振興機構 文献情報部)

倉田 重子(独立行政法人科学技術振興機構 文献情報部)

岩沢 一男(独立行政法人科学技術振興機構 文献情報部)

中村 徹(独立行政法人科学技術振興機構 文献情報部)

10) 理論物理学と実験物理学の引用パターンの比較

柴田 大輔(帝京平成大学)

11) 民間所在史料の消失と散逸

寺澤 正直(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程)

12) シラバスの分析にみる日本国内のMOT(技術経営)教育プログラムの変遷

神山 資将(中間法人知識環境研究会)

■ 出展機関と展示内容

1) ユサコ株式会社

・「電子コンテンツ管理製品のご案内」

2) ウエストロー・ジャパン株式会社

・「Westlaw International」

・「Westlaw Japan」

3) ProQuest 日本支社

・「CSA Illustrata -Deep Indexing-」

4) 独立行政法人 科学技術振興機構 広報・ポータル部

・「一科学技術全て伝えますーScience Portal (<http://scienceportal.jp/>)」